

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syujukai.org/> E-mail ikoinosato@syujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

第61号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さんこんにちは。6月に入り、あたりの田圃では満々とたたえた水面に穂が植えられ今年の秋の収穫に向かって一杯の陽光を浴びています。

米を主食とする農業国の伝統の風景があたりをなごやかに自然の豊穡を展開しています。

しかし私達人間社会は今、新型コロナウイルスの猛威の中、世界の人々に感染者が拡がり、恐怖の封鎖、3密を避ける中で、日本ではピークを過ぎては、未来の再発、不安の状況にあります。何とか強力な治療薬・ワクチンの開発又、迅速なPCR検査等の容易な判定で、人間の社会活動が従来通り行われることを望む所です。この非常事態宣言からの2ヶ月余りは私達の法人の医療福祉施設も多くの患者、利用者の皆様の感染予防に職員一同頑張ってきました。その貴重な経験を今後の対策に生かし強い感染

予防、治療の施設作りに頑張りたいと思っています。

私達の社会が、これを契機に大いに変わると言われています。特別の生物に侵入するウイルスの毒性を人間社会との共生の有役性にもっていけないものか、科学・文明の発達に損害を加えたウイルスとの共存は可能なものか、未来は我々のピンチをチャンスに変える未来であって欲しいものです。

この季刊誌の夏季号は両法人各施設の今までの実績と今後の取り組みについて載せさせて頂きました。

これからの猛暑のシーズン、くれぐれも御自愛下さい。



両法人新人研修スタート

施設運営マネジャー 臨床心理士 玉置 賢

4月1日の新人オリエンテーション研修を皮切りに1年間のスケジュールで新人研修を担当しています。4月から7月までの前半は、毎週、基礎研修として、法人理念の理解・社会人マナー・主体性・チームワーク等について理解を深めます。8月から3月の中～後半にかけては、宿泊研修やグループごとに分かれて、研究発表に取り組みます。総まとめとして、次年度の新人オリエンテーションの場で発表する、という流れになっています。

人材育成は、職員の生産性を向上させ、法人に貢献できる人材を育成するという大前提の目的はありますが、法人が職員一人ひとりの成長を願い、向き合う努力をしていくことなしには達成できないものだと思っています。そして、職員が自分自身の未来を切り拓く力をつけ、ここに就職して良かった、と思えることこそが真の人材育成だと私は考えています。





中村病院の診療機能について

院長 高橋 輝



新型コロナウイルス感染症も落ち着きつつあり、当院では遭遇することなく、通常の病院運営を継続できています。引き続き院内での感染対策などに皆様のご協力をお願い致します。

さて、当院では、常勤医で対応できない専門領域について、院外の先生のご協力を得て、幅広い領域の疾患に対応できるよう充実を図っています。

脳神経領域に関しては、脳神経内科が火曜日夜診と第2・4土曜日午前診、脳神経外科が火曜日午前診・夜診で外来診療を行っており、入院中のリハビリ患者さんに対しても専門医による継続的なフォローができる体制としています。

高齢化に伴いニーズが高まっている泌尿器科は、月・水曜日夜診と土曜日午前診の週3日専門外来を開設しています。

また、今年4月から新たに内科系診療の中で、腎臓内科及びリウマチ膠原病内科領域を専門とされる医師の外来を毎週木曜日夜診に開設しています。尿蛋白や腎機能低下、関節リウマチなどを担当する専門領域で、いずれも専門医が少ない分野ですので、お困りの方は受診して頂ければと思います。

眼科は担当医であった山田先生が病院前に「ルーク山田眼科」を開院される形で独立されましたので、当院での眼科外来は終了しています。当院での眼科診療データを引き継いで頂き、夕方診療も開始され受診しやすくなっていますので、「ルーク山田眼科」での受診継続をお願い致します。

今後も周辺医療機関の協力を得ながら、地域の皆様に幅広い領域の診療機能をご提供できるよう努力して参ります。



リハビリ部門 取り組み紹介

リハビリテーション部 部長 清 家 康 伸

新型コロナウイルス感染症の影響により当院のリハビリ部門におきましても、様々な影響が出ております。

大阪の某リハビリテーション病院では職員や患者様に多くの感染者が出るなどして深刻な問題になっています。しかしリハビリを中止すれば体力の落ちた高齢者が増え、介護量の増大、入院患者の自宅への復帰の妨げなど、この感染症の二次的な問題が発生すると考えます。その為に当院におきましては感染防止のため様々な取り組みを行っています。

リハビリ室の徹底した換気、患者・職員ともマスクの使用、他訓練内容によってはゴーグル・フェイスシールドの着用を行いクラスターの発生を防止すべく奮闘しております。その他にも様々な対策を講じ、感染拡大を防止できるよう努力しております。

その結果一部の患者様や患者家族様には大変ご迷惑をかけて

おりますが何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



楽しみを感じる食事提供を目指して

栄養管理部 課長 樋口 朋宏

食事には大きく二つの役割があると言われています。

一つは生きていくために必要な栄養素の補給、もう一つは会食や食事のおいしさなどの楽しみとしての食事。この二つの役割において病院給食は治療を前提とした前者に重きを置いた制限の多い構成になっている事はある意味仕方のないことであると考えます。

治療をするために普段家で食べている食事の量よりも少ない量を提供したり、塩分の少ない薄味の食事を提供したりすることが多くあります。入院中の食事としては仕方のないことではありますが、それだけの食事の提供は治療の助けになっていないのではなか？ 制限があっても楽しみを感じる食事を提供する事ができないか？ と考え病院給食の改善に取り組んでいます。

限られた中ではありますがおいしく楽しい食事提供を目指

して、法人農園で獲れた旬の野菜を使った料理の提供や患者さまの食べたいメニュー（リクエストメニュー）の導入、塩分計を用いた標準的な味付けの共有など、できる事からやっという事で進めています。これから少しでも楽しみを感じて頂ける食事の提供を目指して、食事に関わるスタッフ全員で努めてまいります。



とある日の入院患者食



クラスターの脅威

なごみの里 看護師長 岩下 慶子

現在全世界で深刻化している新型コロナウイルスによる感染拡大は、私たち老健施設のスタッフにとって、今まで感じたことのない脅威となりました。何故、介護施設でのクラスターが相次いで発生したのか、それは「3密」を避けるのが難しく、食事や入浴など生活に欠かせない行為そのものが感染リスクとなったということです。全国で感染拡大が広まる中、もっとも大きな課題の1つが、介護現場での集団感染対策です。介護施設は医療設備も整っていませんし、医師も24時間常駐していません。感染予防については、面会の中止や、職員の検温、消毒の徹底などできる限りの対応をしていますが、もし感染者が出た場合、専門知識を持つ医療職でないと、ゾーン分けや動線を設定するのは難しいといわれています。施設介護士は、防護服の装脱着の仕方もわからない状態であるため、当施設では看護師がこの役割を果たし、介護士への指導も行うこととなります。しかし、看護師の人数も限られており、マスクや防護服などの衛生資材の不足も深刻化しています。今は医療崩壊を招かない

ように病院については多くの対策が取られていますが、介護施設はどうしても二の次となり、具体的な支援策が十分講じられていないのが現状です。施設内で集団感染が発生しても、介護崩壊や施設の孤立を招かないよう、職員のバックアップ体制を作る方法を検討していく必要があると考えています。

今後も新型コロナウイルス感染が終息するまで、職員の気持ちが切れないようフォローしながら、全職員で頑張ってもらいます。



生活や人生に寄り添うリハビリに向けて

なごみの里 リハビリテーション部 課長 大林 浅美

本格的な夏の訪れが近づき、個人的には足早に2020年の半年が過ぎたと感じております。新型コロナウイルス感染症への対応策にはご利用者、ご家族の皆様にご協力いただき、ありがとうございます。

入所ご利用者の面会やリハビリ場所の制限、通所ご利用者のマスク着用や外出自粛等のなか、リハビリが行う取り組みの変化や気づきもありました。入所では、生活場面でのご利用者や多職種との関わりが増え、食事や姿勢を整える（ポジショニング）等の確認や助言を行う機会も多くなりました。通所では「娘がマスクを作ってくれた」と照れながらお話しされる場面や「運動や出かけるのは大事や」というお声に触れ、温かい気持ちになるとともに、リハビリの役割に改めて気が引き締まりました。

さて、私事ですが、この半年間、様々な価値観や温度差の狭間に身を置くことによる、迷いや疲れから、仲間に関心や苛立ちを向けてしまい落ち込むことがありました。仲間や上司はそんな私を見守り、私に合った解決策として「信頼し合うこと」を教えてくださいました。

ご利用者、ご家族の皆様も、障害や加齢等によるお身体や気持ちの変化に、戸惑いや悩みもあるかと思います。私たちはご利用者の生活や人生が切れ間なく変化しながら続くことを理解し、寄り添うことを大切にしていきます。そして、その人らしい解決策や生きがいに繋がる関わりや、取り組みを多職種とも協力し進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



新しい日常に向けて

なごみの里入所 介護主任 林 征一郎

2020年4月7日、政府より「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」がありました。なごみの里では、感染経路遮断の対策「(病原体を) 持ち込まない、持ち出さない、広げない」を元に持ち込まない対策を特に意識して取り組みをしました。4月から入所者様のご家族への面会中止を徹底させていただき、職員にはマスクの着用の徹底、手洗い消毒はもちろんのこと、出勤時には必ず検温の有無を確認するなどして持ち込まない対策を現在も行っています。

面会中止に伴い、ご家族様、入所者様の両方から安否を気遣う声が多数寄せられたことから、4月末からTV電話の導入を行い、画面越しではありますが元気な姿が見られると、ご好評頂いております。

5月21日には緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ第

2波の懸念があるため対応は慎重に行って行きたいと考えております。ご家族様、入所者様には多大なるご不便をおかけしております。改めてご協力に感謝を申し上げます。

6月からは学校の再開や外出自粛の緩和などがあり、徐々にではありますが日常が戻ってきたのではないかと思います。その上で新しい日常に向けて心掛けなければいけない事が、しっかりと感染防止策をとることです。「距離の確保」「マスクの着用」「丁寧な手洗い」などの新型コロナウイルス感染症にかからない、うつさない為の対策をしながら日常を送ることが、必要不可欠と考えます。新型コロナ感染症を乗り越えていく為に皆様と協力して対策を講じていけるよう努めていきたいと考えております。ご意見、ご要望があればお気軽にお声かけ下さい。



松樹会での新しい施設作り、工事順調です！ いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

かねてより、開設の準備をしていました（仮称）「地域密着型特別養護老人ホームいこいの里長尾」の新築工事と「特別養護老人ホームいこいの里」の増築工事は、2021年4月の開設に向けて順調に工事が進んでいます。現在は、2つの施設ともに基礎工事を中心に行われていますが、このまま順調に進んでいければと思います。

スタッフ募集についても、新型コロナウイルスの感染症予防の配慮から「オープニングスタッフ募集説明会」をどのように開催するかを検討中です。新しい方法で、告知できるように現在調整中です。また、ホームページにてご参照いただければ幸いです。

また、新型コロナウイルス関連による就職支援として、当法人も「勉強しながら、仕事を覚えられる職場環境」を目指して、新たな支援策を打ち出しています。こちらも、詳しくはホームページにて掲載していますので、是非ともお問い合わせの中で就職希望者がありましたらお問い合わせください。

新型コロナウイルスによる就職支援制度

担当：山川 亮 連絡先：072-868-2191
E-mail：saiyou@syujukai.org



新型コロナウイルス自粛期間時のサテライトいこいの里の取り組み

サテライトいこいの里 介護主任 竹原 絵美

2/27より新型コロナウイルス感染予防のため、ご家族の面会を中止しておりました。

ご家族様には、ご入居様の元気な様子を写真と職員のお手紙にてお伝えしておりましたが、ご入居者様のご家族と一緒に過ごす時間を作れないかと考え、窓越しの面会を実施致しました。久しぶりのご家族との時間に涙を流される方が多くみられました。

施設行事に関しては、当初予定していた菖蒲園見学の代わりに、ご入居者様に気分だけでも味わっていただきたく施設内に菖蒲の写真や絵を張り出しスタンプラリーを行いました。

皆さんで菖蒲を見ながら施設内の菖蒲園探索を楽しんで頂き、自粛期間中の運動不足解消にもなりとても楽しい時間を過ごすことができました。



コロナ後の介護予防について

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

緊急事態宣言後の包括に寄せられる総合相談は、それ以前のものとは異なってきました。「コロナ前に通っていたスポーツジムに行けなくなり、今は動けなくなったので、介護保険の申請を行いたい。」「久しぶりに実家に帰ると、親の認知症が進んだように思える。どうしたらよいのか相談に乗ってほしい」

人の生活は絶妙なバランスの上で成り立っていますが、特に不活発に陥りやすい高齢者の身体機能や認知機能へのダメージが大きく、それによってこれまで通りの生活が維持できなくなっているなど、コロナの影響は計り知れないものがあると感じています。これまで、枚方市では高齢者の居場所づくりを推進して、介護予防拠点づくりを進めてきました。また、従前から活動者の方々が開催されるサロンや食事会等の活動によって、

高齢者の大切な居場所が提供されてきました。しかし、これらの活動自粛によって、不活発が後押しされています。

また、コロナによるネットワークの断絶が懸念するところです。例えば、民生委員さんたちは、感染予防のために、全国的に友愛訪問ができない状況であったと伺っております。日ごろの民生委員等の目配りが、地域住民のセーフティネットとして役割を担っていましたので、まだまだ実態が把握できていないケースも多くあるかと思えます。

地域での活動は少しずつ再開の動きはありますが、これまでと同じように実施することはできませんので、新しい生活様式を取り入れ、開催の工夫について私たちも一緒になって考えさせて頂きたいと思っております。

—— 編集後記 ——

春号第60号を発行した以降、新型コロナウイルス感染症が勢いを増し世界、日本全土に猛威を振るいました。その後非常事態宣言も解除し、各県への往来も解除され経済活動も徐々に動き始めておりますが、まだまだ第2波も予想され予断は許されない状況です。両法人も理事長をリーダーとしてコロナ感染症対策委員会を立ち上げ数々の対応策を講じて今日に至っております。今号はコロナ特集の様相ですが、会議も今までは耳慣れなかったSkypeでもなくZOOM会議が主流になってきており各施設会議の場でも利用させていただいております。このように世の中の日常が変化しており、それらの事に追従できるよう努力していきたいと思っている昨今であります。

みどりの風編集委員会
連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田

● 医療法人 みどり会 ●

中 村 病 院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

ルーク山田眼科 072-868-0880

各施設連絡先

● 社会福祉法人 松樹会 ●

特別養護老人ホーム いこいの里
デイサービスセンター いこいの里 072-898-2197
サテライトいこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190
デイサービスセンター 長尾
ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2191
グループホーム たんぽぽ藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690